様式1　再生資源利用実施書　－建設資材搬入工事用－－「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」対応版－

1.工事概要

（赤着色セルは必須入力箇所です。）

発注担当者チェック欄		
発注機関を選択	大分類	
	中分類	
	小分類	
発注機関コード		
担当者	0	
TEL	0	

法人番号	0	← http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/	
請負会社名	0	請負会社コード＊2	0
建設業許可の場合	0　0　0 号		
解体工事業登録の場合	0　0 号		
会社所在地	0	TEL	0
		Email	0

記入年月日	R　年　月　日
工事責任者	0
調査票記入者	0

工事名	0	工種を選択	工事種別コード*3
工事施工場所	0	住所コード	
工事概要等	0	施工条件の内容（再生資源の利用に関する特記事項等）	0

請負金額	千百十億億億億万万万万 0 1万円未満四捨五入 万円（税込み）
工期	令和 0 年 0 月 0 日から
	令和 0 年 0 月 0 日まで
左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用	千百十億万万万万 1万円未満四捨五入 万円（税込み）
再資源化等が完了した年月日	令和　年　月　日

建築・解体工事のみ右欄に記入して下さい

建築面積	百十万万千百十一 0 ㎡	階数	地上 0 階
延床面積	0 ㎡		地下 0 階
構造	0		
使途	0		

※解体工事については、建築面積をご記入いただかなくても結構です。

2.建設資材利用実施

建設資材（新材を含む全体の利用状況）						左記のうち、再生資材の利用状況（再生資材を利用した場合に記入して下さい）							再生資源利用率 B/A×100
分類		小分類 コード＊5	規格	主な利用用途 コード*6	利用量(A) 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量(B) 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類 コード*8	施工条件内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	
特定建設資材	コンクリート				トン		トン						0 %
					トン		トン						0 %
	合計				0.000 トン		0.000 トン						0 %
	コンクリート及び鉄から成る建設資材				トン		トン						0 %
					トン		トン						0 %
	合計				0.000 トン		0.000 トン						0 %
	木材				トン		トン						0 %
					トン		トン						0 %
	合計				0.000 トン		0.000 トン						0 %
	アスファルト・コンクリート				トン		トン						0 %
					トン		トン						0 %
	合計				0.000 トン		0.000 トン						0 %
その他の建設資材	土砂				締めm^3		締めm^3						0 %
					締めm^3		締めm^3						0 %
	合計				0.000 締めm^3		0.000 締めm^3						0 %
	砕石				m^3		m^3						0 %
					m^3		m^3						0 %
	合計				0.000 m^3		0.000 m^3						0 %
	塩化ビニル管・継手				トン		トン						0 %
					トン		トン						0 %
	合計				0.000 トン		0.000 トン						0 %
	石膏ボード				トン		トン						0 %
					トン		トン						0 %
	合計				0.000 トン		0.000 トン						0 %
	その他の建設資材				トン		トン						0 %
					トン		トン						0 %
	合計				0.000 トン		0.000 トン						0 %

コード*5

コンクリートについて
1.生コン（バージン骨材）　2.再生生コン（Co再生骨材H）
3.再生生コン（Co再生骨材M）　4.再生生コン（Co再生骨材L）
5.再生生コン（その他再生材）　6.無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（ﾊﾞｰｼﾞﾝ骨材）
7.無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（ﾘｭｰｽ品）　8.再生無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（Co再生骨材）
9.再生無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（その他再生材）　10.その他

コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（ﾊﾞｰｼﾞﾝ骨材）　2.有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（ﾘｭｰｽ品）
3.再生有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（Co再生骨材）　4.再生有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（その他再生材）
5.その他

木材について
1.木材（ボード類を除く）　2.木質ボード

アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン　2.密粒度アスコン　3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン　5.改質アスコン　6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材　8.その他

土砂について
1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土　4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土　6.浚渫土　7.土質改良土　8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂　10.山砂、山土などの新材（採取土、購入土）

砕石について
1.クラッシャーラン　2.粒度調整砕石　3.鉱さい　4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石　6.その他

塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管　2.その他

石膏ボードについて
1.石膏ボード　2.シージング石膏ボード　3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード　5.石膏ラスボード　6.その他

その他の建設資材について
（利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい）

コード*6

アスファルト・コンクリートについて
1.表層　2.基層
3.上層路盤　4.歩道
5.その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）

土砂について
1.道路路体　2.路床　3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用　6.水面埋立用
7.ほ場整備（農地整備）
8.その他

砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他

塩化ビニル管・継手について
1.水道（配水）用　2.下水道用　3.ｹｰﾌﾞﾙ用
4.農業用　5.設備用　6.その他

石膏ボードについて
1.壁　2.天井　3.その他

その他の建設資材について
（利用用途を具体的に記入して下さい）

コード*7

コンクリートについて
1.再生生コン（Co再生骨材H）　2.再生生コン（Co再生骨材M）
3.再生生コン（Co再生骨材L）　4.再生生コン（その他再生材）
5.無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（ﾘｭｰｽ品）　6.再生無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（Co再生骨材）
7.再生無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（その他再生材）　8.その他

コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（ﾘｭｰｽ品）　2.再生有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（Co再生骨材）
3.再生有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品（その他再生材）　4.その他

木材について
1.再生木材（ボード類を除く）　2.再生木質ボード

アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン　2.再生密粒度アスコン　3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン　5.再生改質アスコン　6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材　8.その他

土砂について
1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土　5.浚渫土以外の泥土　6.浚渫土
7.土質改良土　8.建設汚泥処理土　9.再生コンクリート砂

砕石について
1.再生クラッシャーラン　2.再生粒度調整砕石　3.鉱さい　4.その他

塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管　2.その他

その他の建設資材について
（利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい）

コード*8

再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場（内陸）
3.他の工事現場（海面）
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*9

施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

様式2　再生資源利用促進実施書 －建設副産物搬出工事用－

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1.工事概要

表面（様式1）に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出実施

建設副産物の種類	場外搬出時の性状	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量 現場内利用 用途コード*10	②利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量化 減量法コード*11	③減量化量 小数点第三位まで	現場外搬出について 搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分	施工条件の内容コード*12	搬出先場所住所	住所コード*4	運搬距離 千 百 十 一	搬出先の種類コード*13	④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	⑤再生資源利用促進量	再生資源利用促進率 ②+③+⑤/① (%)
特定建設資材廃棄物	コンクリート塊	0.000 トン		トン	トン			搬出先1					km		トン	トン	0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン	トン		
	建設発生木材A（柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの）	0.000 トン		トン	トン			搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	アスファルト・コンクリート塊	0.000 トン		トン	トン			搬出先1					km		トン	トン	0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン	トン		
建設廃棄物	その他がれき類	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）	0.000 トン		トン	トン			搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	建設汚泥	0.000 トン		トン	トン		トン	搬出先1					km		トン	トン	0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン	トン		
	金属くず	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	廃塩化ビニル管・継手	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	廃石膏ボード	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	紙くず	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	アスベスト（飛散性）	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	その他の分別された廃棄物	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物）	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
建設発生土	第一種建設発生土	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	第二種建設発生土	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	第三種建設発生土	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	第四種建設発生土	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	浚渫土以外の泥土	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	浚渫土（建設汚泥を除く）	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	合計	0.000 地山m³		0.000 地山m³	0.000 地山m³										0.000 地山m³	0.000 地山m³	0.000 地山m³	0 %

コード*10
1.路盤材　2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他

コード*11
1.焼却　2.脱水
3.天日乾燥
4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
（発注時に指定されたもの）
2.B指定処分（もしくは準指定処分）
（発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの）
3.自由処分

コード*13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設（アスファルト合材プラント）
5.中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）
6.中間処理施設（サーマルリサイクル）
7.中間処理施設（単純焼却）
8.廃棄物最終処分場（海面処分場）
9.廃棄物最終処分場（内陸処分場）

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場（内陸）
3.他の工事現場（海面）
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
（再利用の目的がある場合）
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
（再利用の目的がない場合）
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場（覆土としての受入）
9.廃棄物最終処分場（覆土以外の受入）
10.土捨場・残土処分場

※ 6,9,10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

注記）
・ 一般廃棄物は記入しないで下さい。
・ 土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

工事概要は1/4頁目の計画書に記入したものが3/4頁目に反映されます。

計画書（建リ法11条通知対応）は1/4,2/4頁目に記入、実施書（建リ法18条報告、）は3/4,4/4頁目に記入

表面

再生資源利用実施書 ―建設資材搬入工事用―

―「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」対応版―

1.工事概要

発注機関の選択間違いに注意

発注機関を選択		
大分類	国土交通省	
中分類	関東地方整備局	
小分類	大宮国道事務所	

発注担当者チェック欄	
発注機関コード	834700
担当者	建設太郎
TEL	0xx-xxx-xxx

元請業者が法人の場合、「法人番号公表サイト」で検索し法人番号を記入

法人番号	0123456789012	← http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/	
請負会社名	(株)○△建設	請負会社コード*2	86000その他の加盟団体又は団体に属さない
建設業許可の場合	00:国土交通大臣 特定 012345 号	記入年月日	R 1 年 11 月 22 日
解体工事業登録の場合	0 0 号	工事責任者	副産物太郎
会社所在地	埼玉県さいたま市中央区○○○○	TEL	0yy-yyy-yyy
		Email	abc@○○.○○

工事名	○○○道路舗装修繕工事	工種を選択	改良（道路
工事種別コード*3	B-1		
工事施工場所	埼玉県 さいたま市 中央区	住所コード	11105
工事概要等	……	(再生資源の利用に関する特記事項等)	……

選択間違いに注意

万円単位

請負金額	10000 万円（税込み）	1万円未満四捨五入
工期	令和 1 年 7 月 15 日から	
	令和 1 年 11 月 18 日まで	
左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用	100 万円（税込み）	1万円未満四捨五入
再資源化等が完了した年月日	令和 1 年 11 月 8 日	

着工年月日＜竣工年月日

建築・解体工事のみ右欄に記入して下さい

建築・解体工事の場合は記入。ただし、解体工事については建築面積を記入しなくても可。

建築面積	0 ㎡	階数	地上 0 階
延床面積	0 ㎡		地下 0 階
構造	0		
使途	0		

※解体工事については、建築面積をご記入いただかなくても結構です。

2.建設資材利用実施

単位と選択間違いに注意

分類	小分類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	利用量(A) 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量(B) 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類 コード*8	施工条件内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード	再生資源利用率 B/A×100
特定建設資材	コンクリート 1.生コン(新)	普通21－8－20		12.000 トン		トン						0 %
	2.再コ(H)			5.000 トン	1.再コ(H)	5.000 トン	○○レミコン(株)××工場	6.他	1.指示あり	埼玉県さいたま市緑区○○1－1－1	11109	100
	合計			17.000 トン		5.000 トン						29
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン		トン						0
				トン		トン						0
	合計			0.000 トン		0.000 トン						0
	木材			トン		トン						0
				トン		トン						0
	合計			0.000 トン		0.000 トン						0 %
	アスファルト・コンクリート 1.粗粒			20.000 トン	1.再粗粒	20.000 トン	○○道路(株)××工場	4.再資源	1.指示あり	埼玉県さいたま市浦和区○○2－2－2	11107	100 %
	2.密粒			10.000 トン	2.再密粒	10.000 トン	○○道路(株)××工場	4.再資源	1.指示あり	埼玉県さいたま市浦和区○○2－2－2	11107	100 %
	合計			30.000 トン		30.000 トン						100 %
その他の建設資材	土砂 1.一種		1.構造物等の裏込材、埋戻し用	16.000 締め㎥	1.一種	16.000 締め㎥	○○○○道路舗装修繕工事	1.現場内	1.指示あり	埼玉県さいたま市中央区○○3－3－3	11105	100 %
				締め㎥		締め㎥						0 %
	合計			16.000 締め㎥		16.000 締め㎥						100 %
	砕石 1.クラ		1.舗装の下層路盤材	20.000 ㎥	1.再クラ	20.000 ㎥	○○○○道路舗装修繕工事	1.現場内	1.指示あり	埼玉県さいたま市中央区○○3－3－3	11105	100 %
	2.粒調		2.舗装の上層路盤材	695.000 ㎥	2.再粒調	695.000 ㎥	○○道路(株)□□工場	4.再資源	1.指示あり	埼玉県川口区○○4－4－4	11203	100 %
	合計			715.000 ㎥		715.000 ㎥						100 %
	塩化ビニル管・継手			トン		トン						0 %
				トン		トン						0 %
	合計			トン		トン						0 %
	石膏ボード			トン		トン						0 %
				トン		トン						0 %
	合計			0.000 トン		0.000 トン						0 %
	その他の建設資材			トン		トン						0 %
				トン		トン						0 %
	合計			0.000 トン		0.000 トン						0 %

現場内利用があった場合は、次頁の2.建設副産物搬出実施にも必ず記入

エクセル印刷範囲外にある住所コード検索機能で検索し、転記。転記間違いに注意

品目毎の供給元施設、工事等が3箇所以上ある場合は、シート2枚目以降を利用してください。

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材) 2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M) 4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他再生材) 6.無筋コンクリート二次製品(バージン骨材)
7.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 10.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(バージン骨材) 2.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
5.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン 3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン 5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管 2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード 2.シージング石膏ボード 3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層 2.基層
3.上層路盤 4.歩道
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用 6.水面埋立用
7.ほ場整備(農地整備)
8.その他
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケーブル用
4.農業用 5.設備用 6.その他
石膏ボードについて
1.壁 2.天井 3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H) 2.再生生コン(Co再生骨材M)
3.再生生コン(Co再生骨材L) 4.再生生コン(その他再生材)
5.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 4.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン 3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土
7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉱さい 4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管 2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は。シート2枚目以降を利用してください。

※最後に必ず印刷して確認してください。

様式2　再生資源利用促進実施書　－建設副産物搬出工事用－

解体と新築工事を一体的に施工する場合は、搬出工事用は解体分と新築分に分けてエクセルファイルを作成

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1.工事概要

表面（様式1）に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出実施

単位間違いに注意

建設副産物の種類	場外搬出時の性状	①発生量（掘削等）=②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量 現場内利用 用途コード*10	②利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量化 減量法コード*11	③減量化量 小数点第三位まで	現場外搬出について 搬出先名称（2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。）	区分	施工条件の内容コード*12	搬出先場所住所	住所コード*4	運搬距離 千 百 十 一	搬出先の種類コード*13	④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	⑤再生資源利用促進量	再生資源利用促進率 ②+③+⑤/① （%）
特定建設資材廃棄物	コンクリート塊	112.000 トン	1.路盤材	40.000 トン	トン			搬出先1 ○○リサイクル（株）○○工場	民間		埼玉県上尾市1-1-1	11219	10 km	5.中合外	72.000 トン	トン	72.000 トン	100 %
								搬出先2					km		トン	トン		
	建設発生木材A（柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの）	10.000 トン		トン	トン			搬出先1 ○○（株）チップ化工場	民間		埼玉県川越市2－2－2	11201	15 km	5.中合外	8.000 トン		8.000 トン	80 %
								搬出先2 （株）○○　中間処理施設	民間		埼玉県さいたま市中央区1-1-1	11105	5 km	7.焼却				
	アスファルト・コンクリート塊	302.000 トン		トン	トン			搬出先1 ○○道路（株）××工場	民間		埼玉県さいたま市浦和区3－3－3	11107	15 km	4.中合材	302.000 トン	トン	302.000 トン	100 %
								搬出先2					km		トン	トン		
建設廃棄物	その他がれき類	1.000 トン						搬出先1 □□処分場	民間		埼玉県さいたま市浦和区3－3－3	11107	15 km	9.内陸処分	1.000 トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	建設発生木材B（立木、除去材などが廃棄物となったもの）	2.000 トン		トン	トン			搬出先1 ○○（株）チップ化工場	民間			11201	15 km	5.中合外	2.000 トン		2.000 トン	100 %
								搬出先2					km		トン			
	建設汚泥	300.000 トン		トン	トン		トン	搬出先1 △△（株）	民間		-1	13123	40 km	5.中合外	300.000 トン	トン	300.000 トン	100 %
								搬出先2					km		トン	トン		
	金属くず	27.000 トン						搬出先1 ○○金属株	民間		-3－3	11107	13 km	1.売却	27.000 トン		27.000 トン	100 %
								搬出先2					km		トン			
	廃塩化ビニル管・継手	1.200 トン						搬出先1 ○○リサイクルセンター	民間			11219	15 km	5.中合外	1.200 トン		1.200 トン	100 %
								搬出先2					km		トン			
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	1.800 トン						搬出先1 ○○リサイクルセンター	民間		埼玉県上尾市4－4－4	11219	15 km	5.中合外	1.800 トン		1.800 トン	100 %
								搬出先2					km		トン			
	廃石膏ボード	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	紙くず	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	アスベスト（飛散性）	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	その他の分別された廃棄物	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
	混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物）	0.000 トン						搬出先1					km		トン		0.000 トン	0 %
								搬出先2					km		トン			
建設発生土	第一種建設発生土	2,020.000 地山m³	1.路盤材	20.000 地山m³	地山m³			搬出先1 ■■■■工事	公共	A指定処分	東京都港区○○1－1－1	13103	33 km	2.他工(陸)	1,300.000 地山m³	地山m³	2,000.000 地山m³	100 %
								搬出先2 ☆☆☆☆工事	民間	A指定処分	東京都足立区○○2－2－2	13121	28 km	2.他工(陸)	700.000 地山m³	地山m³		
	第二種建設発生土	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	第三種建設発生土	1,025.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1 ★★★★工事	公共	A指定処分	東京都港区××2－2－2	13103	32 km	2.他工(陸)	603.000 地山m³	地山m³	603.000 地山m³	59 %
								搬出先2 ○○○○受入場	民間	A指定処分	埼玉県桶川市○○3－3－3	11231	20 km	10.土捨場	422.000 地山m³	地山m³		
	第四種建設発生土	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	浚渫土以外の泥土	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	浚渫土（建設汚泥を除く）	0.000 地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1					km		地山m³	地山m³	0.000 地山m³	0 %
								搬出先2					km		地山m³	地山m³		
	合計	3,045.000 地山m³		20.000 地山m³	0.000 地山m³										3,025.000 地山m³	0.000 地山m³	2,603.000 地山m³	86 %

エクセル印刷範囲外にある住所コード検索機能で検索し、転記。転記間違いに注意。
※現場内利用の場合は、工事施工場所コードとあっているか確認

選択間違いに注意

現場内利用があった場合は、前頁の2.建設資材利用実施にも必ず記入

品目毎の搬出先施設、工事等が3箇所以上ある場合は、シート2枚目以降を利用してください。

距離は整数入力

コード*10
1.路盤材　2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他

コード*11
1.焼却　2.脱水
3.天日乾燥
4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
（発注時に指定されたもの）
2.B指定処分（もしくは準指定処分）
（発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの）
3.自由処分

コード*13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設（アスファルト合材プラント）
5.中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）
6.中間処理施設（サーマルリサイクル）
7.中間処理施設（単純焼却）
8.廃棄物最終処分場（海面処分場）
9.廃棄物最終処分場（内陸処分場）

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場（内陸）
3.他の工事現場（海面）
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
（再利用の目的がある場合）
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
（再利用の目的がない場合）
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場（覆土としての受入）
9.廃棄物最終処分場（覆土以外の受入）
10.土捨場・残土処分場

※6,9,10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

注記）
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は。シート2枚目以降を利用してください。

※最後に必ず印刷して確認してください。